

郷土こぼれ話

地域の神様 ⑤ おしっさま(代)

— 須田美枝子さんにお話を伺いました —

おしっさまは、代の四地区の神様です。東宮の下、西宮の下、篠屋敷、代山の4地区で人々の生活を守ってくれた神様です。

お獅子様(おしっさま)は、加須市にある玉敷神社の神宝です。五穀豊穡と家内安全を祈願するために神宝を借りてお祀りしたものです。

昔は、玉敷神社の神宝である獅子頭を用いて悪疫や災難を追い払うための行事～獅子舞いや祓えの祭り～が行われたそうです。畏敬の念を込めて獅子頭であるお獅子様をいつからか「おしっさま」と呼ぶようになったそうです。

代では、薬師堂の場所をお借りして昭和の初期からお祭りが行われていました。

現在、お祭りが簡略化されて、各地区(小字)から代表が選ばれ玉敷神社から御札(御守り)をいただき氏子にお配りするだけになってしまいました



玉敷神社の御守り

古くは、地区の人達が薬師堂に集まりお祭りをしたのがとても楽しかった思い出となっています。おしっさまのお祭りの古い会計簿が残っています。いつ頃からお祀りしているかはっきりは分かりませんが、昭和一桁台の記録が残っています。地域に溶け込み、地域とともに発展してきた神様でもあったのではないのでしょうか。最近、おしっさまのいわれやご利益がはっきり分からなくなってしまった様に思います。とても淋しく思います。

おしっさまは、代の4地区だけでなく原島でもお祀りされ、人々の支えになっていると聞いています。

私たちは、地域で生まれ地域で育ち地域で生活しています。進学、就職、結婚いろいろな理由で“地域”は変わりますが、地域の人々は支え合っていかなければならないというのは同じだと思います。地域の人々のまとまりとして地域の神様のご加護にすがって、人々が支え合っていくことが大切だと思います。私たちには、^{やおよろず}八百万の神様の思想があります。素晴らしいことです。いろいろな神様のもと、たくさんの人々で支え合うことが良いことではないのでしょうか。

お守りを受けるだけの行事になってしまいましたが、現状だけでも良いから守って行きたいと思います。また、知らないことが多いので、勉強する機会があったらいいと思っています。

文・写真 : むらた ひとし

大幡公民館だより 平成28年 3月号